

被災状況	
<p>死者 7,557 人、負傷者 14,536 人(5/5)</p> <p>うち外国人の死者 58 人、負傷者 52 人、行方不明者 112 人 (5/4)</p> <p>被災者数：約 17,900 人 家屋被害：全壊 200,552 戸、半壊 186,285 戸 (5/4)</p>	
被災された方々の健康状態／支援ニーズ	
<p>外傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カトマンズ渓谷の主要病院で負傷者の早期リハビリテーションのニーズ調査が実施され、負傷者の65%以上が骨折に関係し、約12%が脊髄損傷であったと仮結果がでている。(5/3) ・切断手術が増加している。カトマンズ渓谷には外科手術を必要とする患者が多数いる。 ・手術後のリハビリテーションのニーズが高い。また、手術後の退院支援が必要である。 ・リハビリテーションの専門家(理学療法士、作業療法士、リハビリ医)が必要である。 	
<p>感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下痢症のサーベイランスが開始された。 ・下痢症とインフルエンザ流行の情報が流れたが、調査の結果、感染症流行は確認されていない。調査と分析を継続中。 ・政府は感染症の予防と制御のためにラピッドアセスメントチームを派遣した。 	
<p>メンタルヘルス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者に対するメンタルヘルスや心理的支援が必要である。 	
<p>女性と子供の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授乳中の母親は、0か月から23か月の168,000人の乳児に母乳栄養ができるような支援を必要としている。(4/30～) ・6か月から5歳未満の中程度急性栄養失調の70,000児に栄養補給食が必要であり、6か月から5歳未満の重度急性栄養失調の15,000児に治療食が必要である。(4/30～) ・20万人の子供、妊婦、授乳中の母親に包括的な栄養補給が必要である。(5/1～) ・麻疹と風疹の予防接種キャンペーンが開始され、2日から4日でカトマンズ渓谷の公的・非公的キャンプで6か月から5歳までの2,428人に実施された。 ・126,000人の妊婦に対して分娩テントが必要である。(4/30～) 	
被災された方々の生活状況	
<p>住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/2 M5.0の地震がポカラ付近で発生し、被災地域で泥や石構造の家屋が倒壊した。 ・今後モンスーンの季節になり、高品質の頑丈なテントと防水シートの配布など、特に山岳地帯と遠隔地での物流のリンクが課題である。 ・自主運営キャンプの国内避難民は増加傾向で、約37,500人を受け入れている58のキャンプがカトマンズ渓谷で開設中である(5/4) ・シェルタークラスタにより、カトマンズの16キャンプがアセスメントされ、キャンプ管理パートナーの数が不足している。83サイトのオープンスペースの検証が進行中である。(4/30～) ・水、トイレ、緊急シェルター、キャンプ管理支援が優先課題である。 ・国内避難民が被災した家に戻るために、構造評価と情報が必要である。 	

食生活と水・衛生

- ・推定300万人以上に食糧支援が必要。特に140万人が優先的に支援を必要としている(4/30～)
- ・陸路でアクセスできない地域には、食糧を移送するためにさらにヘリコプターが必要である。
- ・マーケットは少しずつ回復している。アセスメントされた10地区の91のマーケットのうち、50%は店舗倒壊などの被害や、食糧在庫の枯渇、経営者の被災や移動により機能していなかった。40%は早期回復の兆しがみられたが、完全には機能していない。余震の恐れ、建物の倒壊、安全性、在庫の枯渇によりほとんどの店が閉まっているために、住民のニーズを満たすことは不可能であることが予測される。10%は食糧があり機能しているが、値段が高騰し、いくつかの日用品はない現状である。
- ・WASH クラスタは推定420万人にサービスを提供する予定。
- ・WASH クラスタと UNICEF により、仮設トイレや貯水タンクの設置、洗濯石鹸、経口補水塩、アクアタブ、バケツ、浄水ボトル、防水シーツなどの衛生用品の配布が継続されている。
- ・水供給はボランティアによって賄われている。
- ・トイレの不足による水汚染が遠隔地で報告されている。

セキュリティ

- ・救援物資の不正使用や略奪、不適切な分配、人道支援の政治問題化の報告がある。
- ・性暴行事件の報告があり、ネパール警察はシェルターやキャンプのパトロールを行っている。

教育

- ・教育省は14地域で29人の教員と57人の学生が死亡(5/4)したと報告した。教室14,541が全壊、9,182が半壊(5/6)した。5/15には公立学校のクラスの再開が予定されており、教員と場所の確保が必要である。

保健・医療機関の状況

- ・5日までに39,795人がカトマンズ渓谷や郊外の多くの病院で治療され、計6065人が入院中。
- ・4地区(Ramechhap, Trisuli, Chautara, Rasuwa)の病院はインフラストラクチャーの崩壊により機能しておらず、外来部門も制限している。
- ・被災地域の保健施設の95%は崩壊しているために、医療用テントのニーズが高い。

医療支援の状況

- ・100以上の海外医療チームが支援のために派遣された。最初の1週間で海外医療チームにより10,000ケースの治療がなされた。(5/4)
- ・医療用テント、薬品、外科機器(特に整形外科物品)、マットレスなど医療物資が必要。
- ・陸路でのアクセス困難な地域に対する医療物資支援が課題である。

ロジスティック

- ・カトマンズ渓谷への道路が通行可能となったが、数日間続いている降雨により地すべりが発生し、瓦礫とともに道路を閉鎖しており地方へのアクセスが課題。
- ・トラック30台分の救援物資を運搬した。(4/3～4/5)
- ・カトマンズ国際空港のHAS(Humanitarian Staging Area)とフィールドレベルのロジスティックハブを増加している。
- ・空港への着陸、離れた地域へアクセスする飛行機のキャパシティが制限されたままである。

【引用文献】

UNOCHA

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal :Earthquake 2015 Situation Report No.7 (30April)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-7-30-april-2015>

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal :Earthquake 2015 Situation Report No.8 (01May)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-8-1-may-2015>

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal :Earthquake 2015 Situation Report No.9 (02May)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-9-2-may-2015>

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal :Earthquake 2015 Situation Report No.10 (04May)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-10-4-may-2015>

World Food Programme

Nepal Earthquake 2015 Rapid Assessment - Key Findings and Maps, 4 May 2015 Release2

<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp274325.pdf>

World Health Organization

WHO Nepal Earthquake Health Update - Situation Report No. 10: 5 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep10-5-may-2015.pdf>

WHO Nepal Earthquake Health Update - Situation Report No. 9: 4 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep9-4-may-2015.pdf?ua=1>

WHO Nepal Earthquake Health Update-Situation Report No. 8: 3 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep8-3-may-2015.pdf?ua=1>

WHO Nepal Earthquake Health Update-Situation Report No. 7: 2 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep7-2-may-2015.pdf>

UNICEF

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 6, 05 May 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-6-5-may-2015>

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 5, 02 May 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-5-2-may-2015>

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 4, 01 May 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-4-1-may-2015>

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 3, 30 April 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-3-30-april-2015>